



わだ い す き

第39号 平成24年11月22日発行

発行者：NPO法人和田地域づくり協議会『WAO!』

連絡先：住所 南房総市和田町仁我浦206 和田地域センター内

電話 0470-47-3427

道の駅和田浦WA・O! 竣工式

11月7日に「道の駅和田浦WA・O!」の竣工式が行われました。式では、市長が次のような式辞（要旨）を述べました。

『道の駅「和田浦WA・O!」は、地域の交流の場、経済活動を中心とした地域振興の場を併せ持った地域の拠点として、整備を進めてきました。地域づくり協議会を中心とした、地域の皆さんが主体となった地域づくり活動の拠点として活用していただきたいと思います。今後とも、南房総市の東の玄関口として、地域のみなさんが集い活躍できる場となり、訪れる皆様に親しみ喜ばれる施設となるように努めていきますので、一層のご支援をお願い申し上げます。』

その後、工事経過報告や来賓の祝辞、テープカットがあり竣工式を終えました。

この道の駅は南房総市では8番目の道の駅となり、岐阜県の高山市とならび日本で一番道の駅が多い市となりました。

市長の挨拶にもありましたが、この道の駅がサークル活動や買い物などで人々が交流しにぎわいを創出する場、言い換えれば『地域コミュニティの核』となる施設に、私たち和田地域の住民で盛り上げていきましょう。



テープカット

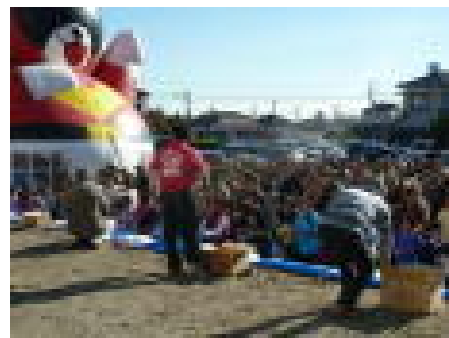
オープニングイベント 第1日

オープニングイベントは、10日、11日と行われました。両日とも9時からイベントが行われ、多くの人でにぎわいました。

道の駅とコミュニティセンターの間では、うんめいもん会やスポーツ少年団、いさな朝市やおかみさんの会など、多くの団体の皆さんが出店してにぎわいを創出してくれました。

コミュニティセンター内では、文化協会の和田支部の皆さんの作品展示やミニくじら博物館が開館していました。文化協会の皆さんの作品はすばらしく、「うまいね!」と感嘆の声も聞かれました。さらに生きがいスペースでは、なごみ喫茶が開かれ多くの人を訪れていました。

西側駐車場では、松風太鼓の披露や餅投げ、ふわふわで遊ぼうや親子体験教室が開かれ、子どもたちの歓声が終日聞こえていました。



大盛況の餅投げ



準備をする模擬店



松風太鼓の演奏



親子体験教室（竹馬）

オープニングイベント 第2日

2日目も1日目と同様に様々なイベントが行われました。1日目にはなく追加された催し物は、餅つきとキッズリズムミック、まつり踊り、そして千倉町・高家神社の庖丁式でした。

キッズリズムミックは小さなお子さんたちが、まつり踊りはサークルで練習している人たちが、それぞれ日頃の練習の成果を發揮してくれました。

高家神社はご存知のように料理の神様を奉った日本でただ1つの神社です。その神社で行われている庖丁式の様子を、アトリウムで再現していただきました。今回使用した魚はブリで、魚にさわらずに見事にさばききりました。来店していた皆さんは、



伝統ある庖丁式

昔から伝わる伝統に大きな拍手を送っていました。

※オープニングイベントの2日間、多くの皆様のご協力・ご参加により道の駅がにぎわいを見せたこと、何よりと思います。今後も多くの人々が集い交流することを期待します。



餅つき「べったん」



ミニくじら博物館



ふわふわで遊ぼう

スポーツの秋

秋と言えば「食欲の秋」「読書の秋」ーーと言われます。何をやるにしても一番行いやすい季節なのでしょう。スポーツもその1つです。

11月3日は文化の日でしたが、ここ和田地域では、地区の皆さんの親睦と健康増進を目的に、南三原地区運動会と北三原地区さわやか軽スポーツ大会がそれぞれ行われました。

南三原地区の運動会は、今年で63回目を迎え、南三原小学校グラウンドで行われました。毎年、白渚、下三原、中三原、松田、海発、沼の6区対抗で行われています。小さなお子さんとお年寄りが協力して取り組む玉入れ、じゃんけんで勝てずに何度も行ったり来たりする人間サッカー、ぴたっと止まって動かない自転車の遅乗り競争、ーー。プログラムの中には、競うとともに笑いを誘うようなものも見られました。今年は昨年に引き続き、松田区が優勝を飾りました。

北三原地区さわやか軽スポーツ大会は、旧北三原小学校グラウンドで行われました。スポーツの内容はグラウンドゴルフで、北三原地区では盛んに行われています。なんと地区の中に2つのクラブチームがあるのです。そんなことから多くの参加者があり、和気あいあいとゲームを楽しんでいました。皆さんが上手であり時間に余裕ができたため、表彰式の前にホールインワン競技も行われました。しかし意識するとなかなか入らないもので、大きなため息が聞こえていました。

11月3日は晴れの特異日なのでしょう。両地区とも青空の下、子どもも大人も、男も女も関係なく、競技や演技に参加したり大きな声で声援を送ったりして楽しい1日を過ごしていました。



南三原地区運動会の開会式



北三原地区軽スポーツ大会

※紙面の関係で、今号はボランティア紹介はありません。